

地方卸売市場宮城県漁業協同組合七ヶ浜支所花刈浜魚市場が完成しました

【水産漁港部】



花刈浜魚市場施設全景

完成した魚市場は、のべ床面積約500㎡で、ヒラメ、カレイ、スズキ等の活魚や鮮魚を扱います。また、魚市場に水揚げされた鮮魚は、隣接する海の駅「七のや」で販売されており、魚市場の完成は、地元七ヶ浜に賑わいをもたらすとともに漁業者の経営の安定化につながっていくものと期待されます。皆さまも新鮮な魚をぜひご購入ください。

東日本大震災で全壊し、国の補助事業を活用して再建した花刈浜魚市場の落成記念式典が、平成28年3月30日に七ヶ浜町や宮城県漁協、漁業関係者などの出席の下で執り行われました。これまでは仮設の魚市場で水揚げを行っていましたが、十分な水揚げ体制が整っていないにもかかわらず、関係者のご努力により、一昨年からは震災前の水準を上回る水揚げとなっています。



落成式の様子

「岩沼藤曾根地区」太陽光発電所の施工に先立ち、安全祈願祭・起工式が開催されました

【農業農村整備部】



安全祈願祭の様子

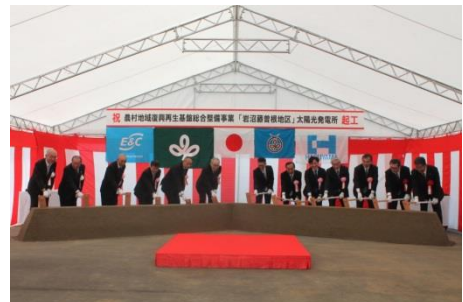
平成28年3月30日に、農村地域復興再生基盤総合整備事業「岩沼藤曾根地区」太陽光発電所の安全祈願祭と起工式が、建設予定地に隣接する藤曾根排水機場内（岩沼市）で開催されました。津波による被災を受けた名取土地改良区管内では、広域的な地盤沈下の影響による排水経費の増大が懸念されるほか、復興事業により新たに造成される農業水利施設の維持管理経費の増大が見込まれています。

こうしたことから、太陽光発電施設を整備し、発電した電力を電気事業者に供給して得られる売電収入により、農業者が新たに負担することとなった経費に対処し、将来にわたる安定的な農業経営の実現を図ることとしています。

また、施設用地として、岩沼市が防災集団移転促進事業で取得した住宅等の移転跡地約3.8haを有効活用することとしており、岩沼市の復興計画に即した土地利用の実現にも寄与することになります。

太陽光発電施設の規模は、発電出力が1,900kW、太陽電池モジュールを9,996枚設置しており、年間発電電力量は一般家庭約600世帯分の消費量になります。

工事は平成28年度中に完成する予定ですが、本施設の早期の完成と、施設の有効活用を通じて、本地域の農業農村が震災前以上に発展することを期待しております。



起工式の様子

被災農地を抱える名取市植松では、この春から新たな農業法人が水稻や大豆といった土地利用型作物を中心に、100ha規模の生産活動を始めます。

土地利用型作物生産組織「植松機械利用生産組合」（構成員8名）は平成28年1月27日に設立し大規模生産活動を行います。平成28年度は大豆と麦を合わせて44ha作付けする計画ですが、穀物乾燥施設並びに育苗施設の建設後には、「農事組合法人 U.M.A.S.I」として平成33年度の140haの作付けを目標に本格的な活動を目指します。



植松機械利用生産組合のメンバー

当普及センター管内ではこのほかにも平成28年度に入ってから岩沼市や名取市に新たに2つの農事組合法人が設立しており、「個人から法人へ」新たな営農活動が進んでいます。また、今後も新たな法人の設立計画が進んでおり、そのほとんどが平成28年中の創設を目指しています。

普及センターでは、これからも地域農業の核となるような生産組織や法人への支援を続けてまいります。

かまぼこ料理レシピ集ができました

【地方振興部】



おいしい！新しい！アイデアがいっぱいのかまぼこ料理レシピ集

宮城県においては、魚食の普及を進め、水産品及び水産練り製品の生産振興をすすめています。

平成27年はかまぼこ生誕900年の年でした。東日本大震災により多くの水産加工業者が被災し、宮城県の生産量は大きく減少しましたが、宮城が誇る自慢のおいしい水産練り製品の消費を拡大し、生産量日本一を奪回するため、仙台地方振興事務所では、塩釜蒲鉾連合商工業協同組合、仙台蒲鉾協同組合と連携してかまぼこ料理コンテストやおでんまつり、塩釜フェア、みやぎ水産の日PR等でかまぼこを消費者へPRする活動を展開してきました。

かまぼこ料理コンテストには県内外から112点の応募があり、その中からおいしい！新しい！かまぼこ料理11点をレシピ集にまとめました。皆さんに活用していただきたいレシピが揃っています。

かまぼこは平安時代から日本人に愛され、食べ継がれてきた宮城県自慢の食材です。これからも様々な生活の場面で取り入れ、食べ続けていきたいものです。

レシピ集は宮城県仙台地方振興事務所地方振興部で配布する他、かまぼこPRイベント等でも活用していく予定です。また、宮城県仙台地方振興事務所ホームページからもダウンロードすることができます。（<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/7.html>）



昨年行った消費者へ向けたPRイベント（大和町）

解除指示を受けた市町村では、引き続き安全な「原木しいたけ」の出荷管理と生産体制を進めるため「露地栽培原木しいたけ生産推進協議会」を設立し、出荷する「しいたけ」に下記の標示シールを貼って消費者へ周知しています。皆様もスーパーや直売所で「しいたけ」をお求めの際は、ぜひご確認下さい。

まだまだ震災前の生産量には遠く及ばない状況ですが、今後も、安全でおいしい「原木しいたけ」の出荷再開を目指す生産者の支援と、イベントなどを通じて広く消費者に向けて出荷再開のPRを行っていきます。

「しいたけ」は、最もポピュラーなキノコ類の一つですが、中でも、コナラなどの原木から発生する「原木しいたけ」は、しっかりした食感と濃厚な味わいで、特に人気の高い「しいたけ」です。

しかし、原子力発電所事故の影響で平成24年4月から当管内5市町村（仙台市、名取市、大和町、富谷町、大衡村）では、露地栽培の「原木しいたけ」の出荷が制限されてきました。

このような中、出荷再開に向け意欲的な生産者の努力と、関係団体や市町村及び県が連携を図り、早期の出荷制限解除を目指し取組を進めた結果、平成28年1月までに、厳しい解除基準をクリアした10名の生産者がつくる「原木しいたけ」が、国からの出荷制限解除指示を受け、晴れて皆様の食卓にお届けできるようになりました。



露地栽培の原木しいたけ生産



安全な原木しいたけの標示シール
上：仙台市， 下：大和町

～仙台地域 新着情報～

「仙山交流味祭inせんだい～春の恵み～」開催のお知らせ



日時：平成28年6月8日（水）～9日（木）
※午前10時～午後4時（雨天決行）
※時間は変動する場合があります。
場所：勾当台公園市民広場（仙台市青葉区）

【お問い合わせ】

- *仙山交流味祭せんだいネットワーク事務局
（（株）サム・コミュニケーションズ内）
T e l : 0 2 3 - 6 8 9 - 9 0 7 1
- *宮城県仙台地方振興事務所地方振興部
T e l : 0 2 2 - 2 7 5 - 9 1 1 4



仙山交流味祭せんだいネットワークと仙台地方振興事務所では、仙台地域と山形県村山地域の交流促進と地産地消の推進を目指して、両地域の旬の特産品を一堂に集めた産直市「仙山交流味祭inせんだい～春の恵み～」を開催します！

毎年大好評の「味祭」。人気の商品は売り切れてしまうことが予想されますので、お早めにご来場いただき、仙台地域、山形県村山地域の旬の味覚をぜひ味わってください！

★ 読者の皆さまからのたくさんの明るい情報をお待ちしております！

問合せ先：宮城県仙台地方振興事務所地方振興部

TEL：022-275-9114 FAX：022-275-0296 E-Mail：sdsinbk@pref.miyagi.jp

(HP) <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-e/>

※次号は平成28年6月下旬発行予定です。